

(財) やまぐち女性財団助成事業

響きあうなかま～Theひとりオーケストラと朗読劇～

北京JAC山口 20年のあゆみ朗読劇

クリスマスチャリティーコンサートin山口

神 田 将



2010年12月19日 (日) 午後2時～4時

会場：山口県婦人教育会館（カリエンテ山口） 会費：1,000円

主催：北京JAC山口 後援：神田将イン山口実行委員会

エレクトーンと神田将

神田将の演奏を初めて聞いた人たちは皆、その圧倒的な表現力と自然な音色に驚きを顕わにします。かつての、BGMを奏でるだけの電子オルガン・・・心の片隅に誰もが抱いているその先入観は、神田将が奏でる最初の一音で払拭されることでしょう。

初代のエレクトーンが誕生して50年。足鍵盤を含めた3段の鍵盤に別々の音色を割り当てて演奏するという基本スタイルこそ変わりませんが、最新の電子技術に支えられ、その中身は劇的変化を遂げました。

音色はどんどん美しくなり、ついにはリアルの域を超

え、演奏家のイマジネーションを自由自在に表現する音色を創造しました。そして最大の革命は、他の楽器に類を見ない繊細さで、演奏家の指先のわずかな変化から微妙なニュアンスを感じとる、感度の高い鍵盤を完成させたことです。

とはいっても、エレクトーンはあくまで楽器。音楽である以上、より重要なのは演奏家の感性とテクニックです。神田将のクラシック演奏では、エレクトーンの潜在力を余すところなく駆使して表現する豊穣でドラマチックな音楽性が、今や厳しいクラシックファンにも高く評価されてい

ます。エレクトーンが新時代の音楽芸術として広く親しまれる時代は、もう始まっているのです。



1967年生まれ。東京都出身。たった1台のエレクトーンでフルオーケストラに迫るサウンドを奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン演奏家。とくにクラシック作品の演奏を得意とし、カザルスホールなどのクラシック音楽専用ホールでのリサイタルを2006年以来続ける。

毎年、100回を超えるコンサートに出演しており、一音ごとに魂のこもった演奏と心に沁み込むトークを織り交ぜたコンサートスタイルで、クラシックファンのみならず、幅広い層から好評を博している。2001年10月には、IMC（国際音楽評議会）総会の初の日本開催にあたり東京芸術劇場で催された記念演奏会に出演し、世界各国の音楽関係者から高い評価を受けた。

2009年、2010年には仙台クラシックフェスティバルと中国上海国際芸術祭に出演、これらはエレクトーン演奏家として史上初の快挙となった。また、ソロの演奏活

動にとどまらず、ソプラノのサイ・イエングアンや二胡の姜建華をはじめとしたクラシック界のトップ・アーティストとも数多く共演し、その卓越した音楽性は世界的オペラ演出家ミハエル・ハンペにも絶賛された。公演の音楽監督、作編曲、演出の手腕にも定評があり、一流演奏家たちからの信頼も厚い。

そのほか、全国の小中学校への訪問コンサートを通じて、子供たちに音楽の真価を伝えるための活動も積極的にこなしている。

*神田さんのことが、もっと知りたい方は、公式HPと2枚のCDアルバムを参考に！

<http://www.yksonic.com>



会場周辺図

神田将クリスマスチャリティコンサートのチケットにつきましては、実行委員会の益田(090-8062-3289) 義永(090-7139-8558)までお問い合わせください。

